

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(児童発達支援) 家庭数 77 回収数 60 割合 77.9%

内容		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	55	3	0	2	・朝や帰りのときの入り口付近のごちゃごちゃが気になります。 ・教室もホールも過度に広くてのびのび過ごせていると思います。 ・お部屋の中の配置を変えたりと、先生方が色々工夫して下さっていると思います ・よいと思います。 ・広々として物も使うものだけ出されているから	・送迎時はどうしても子どもや保護者が重なり、密になりがちになってしまいます。特に事業所からの送迎児の送り出しをずらして、なるべく込み合わないよう工夫します。
		91.7%	5.0%	0.0%	3.3%	・勉強会などでも少し全体的に専門性をもってほしい。 ・本人の特性を理解して下さった上で丁寧に、適切なお声がけをして下さっていると思います。 ・1クラスに2人ついていてくれるとしっかり見ていただける安心感があります。	・全体での研修や、オンラインを利用した研修など、それぞれの職員が研修を受ける機会を保障しています。今後も、計画的に研修の機会を設けます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	46	7	1	6	・ホワイトボード、机、遊び、おやつ、活動等のスペースが分かりやすく区切られており、十分なスペースもあり、落ち着いて活動できている。 ・構造化(教室内)は、今後もどんどん進めて欲しい。 ・構造化はされるようになったが、子どもに分かりやすいかは不明。	・クラスや子どもの状況に合わせて、今後も定期的な見直し・改善を行います。
		76.7%	11.7%	1.7%	10.0%	・室内は温かいが、送迎時ときなど施設が薄く感じます。 ・入口のアルコールが子どもでも使用できるように低い位置にあるととも良いかもしれませんが、入口の前で消毒しているほとんどの生徒の方もお連れの方も、子どもに消毒させている姿を見ます。悪くはないのですが、たまたまときになりました。	・室内の明るさに関しては、適宜調整を行います。 ・入口のアルコールですが、年齢的に小さい子も多いため、子ども任せにするのはリスクが高いと考えます。引き続き、消毒は保護者の方がするというのを、子どもたちにもお伝えください。
3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(子ども本人にわかりやすくすること)になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	53	4	0	3	・困っていることシートだけでなく、支援計画目標についてももう少しつづこんだ話し合いがしたいです。	・コロナ禍で、なかなか懇談の機会が持てずご不便をおかけします。状況を見ながら必要に応じて、懇談や相談等の機会を設けます。	
	88.3%	6.7%	0.0%	5.0%	・経過報告や定期的な支援のものに対するアセスメントがほしい。 ・おかげさまで、少しずつ上達しています。	・計画は保護者に同意をいただいているものなので、なるべく達成できるように支援します。また、途中で変更があるときには、個別に相談させていただきます。	
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	58	2	0	0	・計画を立てただけで終わっているように思う。 ・色々やってくれているようで、あきない。 ・毎回違う活動に取り組んでくださるので、子ども「今日は何をやるのかな？」と楽しみにしています。 ・コロナの関係で、今年度も無理だったと思います。	・計画は保護者に同意をいただいているものなので、なるべく達成できるように支援します。また、途中で変更があるときには、個別に相談させていただきます。	
	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	・家族支援プログラムが、何に当たるのが分からず…家族別にトレーニングなどされているのですか？	・コロナ禍で、たくさんの人数を集めての実施が難しいのですが、土曜療育や懇談の中で、引き続き提案などをしていければと思います。	
5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が作成されているか	56	3	0	1	・通所時の連絡帳と療育の様子を先生から伺い、日々の体調や園の様子や、どこが伸びているとどこが課題なのか等を共有していると思います。 ・コロナ禍で難しい面もある。 ・その日あった事を毎日詳しくお話しして下さるので、自宅でも同じ歌を歌ってみたり、行動を促してみたりと出ています ・毎回迎えの時にその日の活動内容や子どもの良かったところを教えてくださいまして感謝しています。こちら子どもでのご事で気になることを気軽に相談できるのでも助かっています。	・送迎時に、短い時間ではありますが子どもたちの姿を、保護者の皆さんと共有できればと考えています。また、なかなかお会いできない保護者の方々にも、連絡帳や懇談等でお伝えするようにします。	
	93.3%	5.0%	0.0%	1.7%	・先生方はいつもしっかりと話を聞いて下さいます。共感だけでなく、時には具体的な支援方法もご提示してくださり、とても安心します。 ・コロナ禍で難しい面もある。 ・コロナ禍なので少ないのではないかと、これはしょうがないと思う。	・現状交流は困難ですので残念に思います。 ・個人的にはなくても良いと思います。 ・コロナ禍で難しい面もある。 ・コロナ禍の為、致し方ないかと… ・コロナが落ち着いたら、他の保護者の方と話し合いができたらと思う。	
6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援(本人支援及び移行支援)、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	53	2	0	5	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	88%	3.3%	0.0%	8.3%	・保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	55	2	0	3	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	91.7%	3.3%	0.0%	5.0%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	48	3	0	9	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	80.0%	5.0%	0.0%	15.0%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18	13	7	22	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	30.0%	21.7%	11.7%	36.7%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	55	4	1	0	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	91.7%	6.7%	1.7%	0.0%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	56	2	0	2	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	93.3%	3.3%	0.0%	3.3%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	30	13	5	12	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	50.0%	21.7%	8.3%	20.0%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	56	3	0	1	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	93.3%	5.0%	0.0%	1.7%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	47	6	1	6	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	78.3%	10.0%	1.7%	10.0%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	12	9	20	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	78.3%	8.3%	1.7%	11.7%	・定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		

	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	47	5	1	7	・相談や申し入れの時の対応の体制ができていない。先生によっては誠意ある対応が感じられない時がある。 ・何かあればすぐに話を聞いて頂いています。	・相談や申し入れ体制について、どなたにも周知できるよう、年度当初の手紙やホームページに記載し、事業所内のよく見える場所にも掲示をします。
			78.3%	8.3%	1.7%	11.7%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	53	4	0	3	・「今日はおみじで何をしたの?」だと子どもも答えづらいようになかなか話してくれませんが、先生からその日の活動の様子を聞いた後、子どもに「今日〇〇したんだよね?」と聞くときとあつたことを教えてくれます。 ・事前に先生から聞いておくことで、子どもから会話を引き出せていると思います。 ・こちらも伝えたいことは事前に連絡帳に書くようにしています。	
			88.3%	6.7%	0.0%	5.0%		
	18	定期的に法報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	51	4	0	5	・ブログの更新いつも楽しみにしています。	
			85.0%	6.7%	0.0%	8.3%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	54	4	0	2		
			90.0%	6.7%	0.0%	3.3%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。(また、発生を想定した訓練が実施されているか。)	37	6	0	17		
			61.7%	10.0%	0.0%	28.3%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	38	3	0	19		
			63.3%	5.0%	0.0%	31.7%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	52	5	2	1	・朝のいき泳りが酷く申し訳なく思っています。 ・お友達の名前も出るようになり、行き泳りは一切ありません。活動やおやつの内容なども毎回話してくれ、楽しそうです。 ・その日あった出来事をお話してくれます。 ・言葉が出ないので発する事はないですが、子どもの様子を見ています、毎日楽しいんだらうなと感しています。 ・担当の先生との信頼関係が出来てきたようで、表情が明るくなったように思います。 ・毎週行くのをとても楽しみにしています。特に友だちや先生に会って話をするのが楽しみなようです。 ・通所用のカバンを見るときおみじの家にいくことを理解してくれず。急いで靴を履きに行きます。	・子どもたちが気持ちよく生活できるよう、これからも朝の受け入れから丁寧に対応します。また、子どもたちにとって居心地の良い事業所であり続けられるよう、日々の生活を大切にします。
			86.7%	8.3%	3.3%	1.7%		
	23	事業所の支援に満足しているか	51	7	1	1	・満足だが、もう少し言語をやってほしい。 ・大集団を少し離れて、小集団や個別、親子でこころを療育を受けることができ大変ありがたいです。 ・帰ってくるたび何かしらの成長が見られてとてもうれしいです。 ・まだ入所してでアンケート等もわからないことが多々ありますが丁寧に詳しく支援内容を説明して下さるのでとてもわかりやすく感謝しています。 ・おみじの家に本格的に通うようになってまもなく1年が経とうとしています。担当だけでなく事業所間でもミーティングをしながら、私の思いもくみつつ子どもに合う計画を立てて実行して下さっていたり、職員皆様が笑顔で声を掛けて下さる事で、毎日楽しく安心して通所する事が出来ています。来年も引き続き宜しくお願い致します! ・いつもおみじのある日は喜んでいています。子供が言うには 保育園の先生はこわいけど おみじの先生は優しい 叱られるときもあるけどそれも保育園とは違う様で、上手なんだろうなあと感じています。いつもありがとうございます ・就学に向けて色々な活動に取り組んでくださりありがとうございます。家ではやりたくないことも、おみじだと頑張ってみようと思えるようです。3年間おみじに通う中で、良い所をたくさん伸ばして、苦手なことにも挑戦する気持ちを育ててもらえて、とても嬉しく思っています。先生方が一緒に成長を見守って、子どもも母もたくさん褒めてくださったおかげで頑張ることができました。卒してしまおうのが本当に寂しいです。これからも丁寧な支援を続けていってください。 ・保育園よりおみじが好きで通い始めてから意思疎通が取りやすくなったように思います。 ・少人数で見てくださいるのでありがたいです。いつも楽しく行っているようです。ご迷惑をおかけしていると思いますが、たくさん成長させてもらいま	・言語療育について、希望者がたくさんおられますので、できる範囲で時間調整をしながら多くの子に療育を提供できるよう、工夫します。 ・たくさんの温かいご意見ありがとうございます。子どもたちのいい姿をこれからも保護者の皆様と共有し、育ちを支えていければと思います。
			86.7%	8.3%	3.3%	1.7%		

「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

# 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(児童発達支援)

項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	各部屋の基準人数内で、各グループの人数を調整している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	人数に対してというより、こどものメンバー構成や活動内容を考えて配置数を決める必要がある。	人員基準は満たしているため、グループに合わせた職員配置の工夫をする。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	バリアフリーを意識して設計されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	グループに応じて環境設定をしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	勤務形態や時間の都合上、参加できる職員としくい職員とがいる。	時間設定や会議の方法を見直し、全職員が参画できるようにする。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年に一度、保護者評価を実施している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者に対しては結果表を配布している。ホームページにも掲載している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	外部評価は実施していない。	今後、第三者評価等の導入を検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	合同研修会議やケース会議等で障がい特性について考える機会がある。	定期的に、センター内や事業所内で研修会議の機会を設けている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	言語聴覚士によるアセスメントや相談支援ファイルによる現状把握により計画を作成している。	支援計画作成の際には検討会議も実施し、より多角的な視野で作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	太田ステージやこどもの発達を支えるアセスメントシートを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	半年毎にモニタリングを行い、支援内容を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ミーティングなどにより支援について振り返り、確認を行っている。	毎日のミーティングで支援内容について、話し合う機会を設けている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	グループ毎に担当が話し合いプログラムを決めている。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	同じ内容でもやり方を子どもたちの様子に合わせて工夫している。		
適切な支援の提供	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	小集団での活動と個別の言語療育を取り入れている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	グループの担当で打ち合わせと振り返りの時間を設けている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	その日の内にできない時は次の日に振り返りを行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	特記事項にその都度記録を行っている。	記録を取るだけでなく、それを基に支援がより深まるよう、振り返りや検証を行う。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	半年に一回または関係機関との連携により、支援計画を見直し、必要に応じて変更している。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	児発管や担当職員が参加できている。担当職員が参加できない場合も、児発管が普段の様子を聞き取った上で参加できている。	より多くの職員が参加し、連携が深まるように今後も調整をする。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子どもによってばらつきが見られるので、工夫が必要。	普段から関係機関との連携は引き続き行い、ケースに合わせてすぐに対応できるようにしておく。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか→対象児利用なし	-	-		
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者を通じてモニタリングの結果を提出してもらい、情報提供している。	
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	年長児の最終モニタリング時に就学先にお渡しできるように資料を作成している。	
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	市内の事業所との情報交換会を行っている。	まだ情報交換程度しか実施できていないので、研修の機会やお互いの支援内容を見学し合う機会を今後設ける。
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等(放課後児童クラブや児童館)との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	感染症対策のため交流する場は作れていない。	感染症の状況を見ながら、交流する機会を作る。
	28 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自立支援協議会の各部会に参加している。	

保護者への説明責任等	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳で日々の様子を伝えている。	送迎時に会えない保護者もいるので、個別に相談や懇談の機会を設けている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	親子療育の機会をつくり、関わり方について伝えている。	職員がより専門的なペアレントトレーニングの研修を受け、計画的に保護者支援を行う。
	31	運営規程、(支援の内容)利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明できている。	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別懇談で説明後、同意を得ている。	
	33	(定期的に、)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		施設内で検討後、回答するようにしている。	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	感染症対策のため活動ができていない。	感染症の状況を見ながら、保護者同士の交流・連携の機会を作る。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		個別懇談や事業所内相談で相談を受けている。	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に一回施設だよりを発行している。	
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報は鍵の掛かる場所に保管している。	
非常時等の対応	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に分かりやすくするなど工夫をしている。	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	感染症対策のためできていない。	感染症の状況を見ながら、地域へ出かけたリ招待する機会を作る。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは誰でも閲覧できる場に置いている。	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一回様々な場面を想定し、避難訓練を行なっている。	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		共通認識事項として、事前に周知している。	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの診断書の基個別に対応している。	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員会議などで確認している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修に参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	担当児の中では身体拘束については記載したことがない。	身体拘束規程を作成したので、職員に周知しケース会議等で事前にシミュレーションを行う。